

奄美図書館だより

平成27年6月1日発行
第288号 (6月号)
鹿児島県立奄美図書館

〒894-0016 奄美市名瀬古田町1-1 TEL0997-52-0244

HP address : <http://www.library.pref.kagoshima.jp/amami/>

E-mail address : ama-lib@pref.kagoshima.lg.jp

「本もともだちおはなし会」

4月26日(日)に「本もともだちおはなし会」を行いました。
午前と午後の部合わせて約170名の親子のみなさんが来場されました。「子どもたちが本もともともっと仲良しになれるように」「読書に親しみきっかけになりますように」という願いから、この「本もともだちおはなし会」は始まりました。奄美図書館ボランティアとしてあまみ子どもライブラリーさん、おはなしさんぽさん、デイFM土曜日読みむんマンディ絵本の読み聞かせ担当の原恵子さんの協力をいただき、手遊び歌やパネルシアター、大型紙芝居、しかけ絵本等の多くのお話でいっぱいとなりました。お話の世界をたっぷり楽しむ子どもたちの姿で、奄美図書館全体が明るくなった一日でした。



こどもの読書週間企画展

4月19日～5月10日の「こどもの読書週間」の期間中、「奄美図書館のそいてみよう!すてきな本の世界」というテーマで企画展を行いました。次の世代を担う子どもたちにすすめる本を奄美図書館職員や来館した方へ紹介してもらい、館内に設置した「おはなしの木」におすすめる本カードをさげてもらいました。また、今回で57回となる「こどもの読書週間」の歴代ポスターと標語を展示しました。幼少の時から本に親しみ、読書の喜びや楽しみを知ることは、とても大切なことです。「心から好きな本に出会えますように」という願いをこめて展示し、無限大の可能性を秘めた子どもたちに見てもらうことができました。



あまみならでは学舎開講

今年度の生涯学習講座「あまみならでは学舎」が5月16日に始まりました。

1時間目となるこの日は、開講式のあと、「傷ついた野生動物を見かけたら」と題して、奄美動物病院の伊藤圭子さんに講話をしていただきました。講演では、野生動物の救護が必要な場合とそうでない場合の違い、救護された野生動物がその後どうなったのか、実際に救護する際に必要なものと手順について等、大変分かりやすくお話ししていただきました。

2時間目は、6月28日(日)に「戦後70年 奄美の戦争・復帰遺産について」と題して、花井恒三さんと森紘道さんのお二人による講演を予定しています。



「あまみならでは学舎」は、生きがいのある人生を築くとともに、潤いと活力のある地域社会の実現を図るため、今後も多彩な内容を予定しています。受講を希望される方は、電話、FAX、または来館してお申し込みください。

資料の複写(著作権)について

資料の複写については以下の通りとなります。

- (1) 資料の複写については、個人が調査研究のためにするものとし、『資料複写申込書』を記載する。
- (2) 写真・ビデオ等の撮影は、『写真・ビデオ撮影申込書』によって受け付ける。
- (3) 電話による申込みは、原則として受け付けない。(来館・文書・FAX・Eメールは可。)
- (4) 複写申込書を基に、著作権法によって、複写の可否を判断し、資料複写申込書に明記されている下記の注意事項を守る。
 - ・ 図書館の資料である。
 - ・ 個人の調査研究のために使用する。
 - ・ 複写範囲は著作物の一部分(半分以上)に限る。
 - ・ ミスコピーによる料金の払い戻しはできない。また、ミスコピーは回収する。
 - ・ 縮小コピーはできない。拡大コピーは場合により許可する。
 - ・ 複写は、セルフサービスで、有料である。

※ 複写に関するお問い合わせは、奄美図書館までお尋ねください。

ネリヤカナヤ創作童話コンクール ～奄美っ子の豊かな感性が光り輝く～

ネリヤカナヤ創作童話コンクールは、平成15年の奄美群島日本復帰50周年を契機に始まり、今年で12回目を迎えます。

県内でも例のない、子どもを対象とした創作童話コンクールとして、大島地区内の児童・生徒から、これまでに3,573点もの応募がありました。

豊かな風土・自然に抱かれて育った子どもたちの創作童話は、奄美の伝統を継承し、新たな創造へとつないでいこうとする文化の芽吹きです。

6月5日から、奄美図書館に実施要項を置き、また、ホームページでも実施要項等をご覧いただけます。6月10日から応募を受付ます。多くの子どもたちの豊かな心を感じる作品のご応募をお待ちしています。



お知らせ

あまみならでは学舎 ②

※ 今回の講座につきましては内容・講師に変更があります。新しい講座内容・講師については次のとおりです。

○日時 平成27年6月28日(日) 14:00～15:30

○場所 奄美図書館 4階研修室

○内容 演題 「戦後70年 奄美の戦争・復帰遺産について」

講師 奄美のトラさん 花井 恒三 氏
奄美郷土研究会 森 紘道 氏

第12回ネリヤカナヤ創作童話コンクール募集

○ 応募規定等については、「第12回ネリヤカナヤ創作童話コンクール実施要項」を必ずご覧ください。実施要項は、奄美図書館ホームページでもご覧になることができます。

○ 第1回～11回の全作品は、奄美図書館でご覧いただけます。また、第10・11回の最優秀賞受賞作品はホームページでもご覧いただけます。

○ 募集期間 平成27年6月10日(水)～9月10日(木)

※ お問い合わせは、奄美図書館まで。

〒894-0016 鹿児島県奄美市名瀬古田町1-1

TEL 0997-52-0244 FAX 0997-52-9634

6月の行事カレンダー



月	日	曜	行事・催し
6	1	月	休館
	3	水	おはなしの森 15:30～16:00
	4	木	鹿児島県図書館協会奄美支部総会
	6	土	おはなしさんぽ 10:30～11:00
	8	月	休館
	10	水	おはなしの森 15:30～16:00
	15	月	休館
	17	水	おはなしの森 15:30～16:00
	20	土	あまみ子どもライブラリーおはなし会 10:00～11:00
	22	月	休館
	24	水	おはなしの森 15:30～16:00
	25	木	休館（整理研修）
	28	日	あまみならでは学舎② 14:00～15:30
	29	月	休館
7	11	土	ふしぎ探究塾
	12	日	読み聞かせボランティア養成講座
	18	土	あまみならでは学舎③ 14:00～15:30
	23	木	大島地区読書指導者等研修会（瀬戸内町）

7月の休館日予告

6日(月)・13日(月)・21日(火)・27日(月)

今月の新着図書コーナー

読書の風を
奄美から

児童

動物と話せる少女リリアーネ1
タニヤ・シュテプナー 学研教育出版
きつね音楽教室のゆうれい
小手鞠 るい 金の星社
おばあちゃんがおばあちゃんになった日
長野 ヒデ子 童心社
やさしさとおもいやり
宮西 達也 ポプラ社
はいくいきもの
谷川 俊太郎 クレヨンハウス
気をつけよう！子どもの肥満・ダイエット 2
佐藤 美由紀 汐文社
その他92冊

郷土関係

知覧いのちの物語
鳥濱 明久 きずな出版
その他25冊

おすすめの本

小学生からの知っておきたい「お金」のすべて 1
萩原 博子 文溪堂

わたしたちが生活するためには欠かせないお金。そもそもお金って何だろう？ どうしてお金で物が買えるのだろうか？ そんなお金の基本的な話から、電子マネーやポイントカード、バーチャルマネーの仕組みまで、この本を読めば理解することができます。お金についてよく知ること、お金のトラブルから身を守ることに繋がります。便利さの反面、危険もともなう時代になっていることを、親子でもう一度確認してみませんか？

一般

子どもと本
松岡 享子 岩波新書
定年紳士たちの料理教室
江上和子と当仁公民館・男の料理教室 梟社
脳の体操
加藤 俊徳 学研パブリッシング
その他192冊

小説・随筆

桜の下で待っている
彩瀬 まる 実業之日本社
春雷
葉室 麟 祥伝社
わが母最後のたたかい
相田 洋 NHK出版
革命前夜
須賀しのぶ 文藝春秋
その他27冊

進学・ビジネス支援

消費者行動論
田中 洋 中央経済社
その他2冊

くさい食べもの大全

小泉 武夫 東京堂出版

著者の小泉さんが小学生に“くさい体験授業”を行った時のことです。腐った鯖と世界一臭いと言われる缶詰、シュール・ストレミングのにおいをかいてももらいました。そこで、「どちらかを必ず食べないといけなかったら、どっちを選ぶ？」という究極の問いかけをしたところ、全員がシュール・ストレミングを選んだそうです。つまり、人間は生まれながら、自分にとって不要なおいとお金に必要なおいを嗅ぎ分ける力をもっているということなのです。「くさいものを知ることは、人としてたくましく生きるために欠かせない教養」と説く、小泉さんが口にしてきた、くさいものの数々。その魅力とともに、くさいものの歴史的・文化的な背景も同時に学べる一冊です。